

第90期 中間報告書

●上半期● 平成22年4月1日から平成22年9月30日まで

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

第90期上半期（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の事業内容をご報告するにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

当上半期につきましては、世界経済は、欧米において経済政策効果の息切れや雇用改善の遅れがあったものの、アジア経済が内需を中心に拡大するなど緩やかな回復が続きました。一方、わが国経済は、企業収益の改善に加え、エコカーの駆け込み需要や猛暑による消費の増加等もあり、持ち直し傾向が続きました。

その結果、当上半期の豊田通商グループの売上高は2兆7,332億円、経常利益580億円、税引後利益は271億円と前年同期に比し売上高、利益ともに回復傾向となりました。

■ フラッグシップ・メッセージ

**G VALUE**
with you

豊田通商グループは、「人・社会・地球との共存共栄をはかり、豊かな社会づくりに貢献する価値創造企業を目指す」という企業理念のもと、オープンでフェアな企業活動に努めるとともに社会的責任の遂行と地球環境の保全に取り組み、創造性を発揮して、お客様、株主の皆様、従業員、地域社会など、すべてのステークホルダーにご満足いただける「付加価値の提供」を経営の基本理念としております。

この実現に向け、豊田通商グループは、「G' VALUE with you」をフラッグシップ・メッセージに、3つの「G」を豊田通商グループにおける価値創造の基本要件としております。

これにより、当期の中間配当金につきまして、1株当たり12円とし、支払開始日を11月26日とさせていただきます。

今後につきましては、円高の加速やエコカー補助金の打ち切りなど、景気不振リスクが強く、厳しい環境が続くものと思いますが、一層の経営の効率化と収益力の向上に向けた取り組みを継続し、着実に進んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成22年11月
取締役社長 清水順三

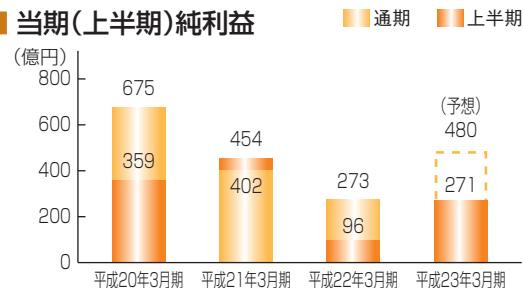
■ 売上高



■ 経常利益



■ 当期(上半期)純利益



■ 豊田通商グループにおける価値創造の3つの基本要件

Global ~世界を舞台とした活動の展開

Glowing ~健康的にして燃えたつような意欲、情熱の保持

Generating ~新しい事業を創造し続けること

社員一人ひとりが、自分の「G」(目標や課題)を見つけ、それぞれの多彩な個性を集結させ、新たに生み出していく価値が豊田通商グループの「G' VALUE」となります。また、あらゆるステークホルダーの皆様とともに(with you)、より豊かな「G' VALUE」を創り、その成果をともに分かち合いたい、そんな思いをこのメッセージに込めております。

チリ共和国にてヨード生産事業会社へ出資



当社は、本年5月にチリ共和国のヨード生産事業会社であるアルゴルタ ノルテ社に出資しました。

ヨードはレアアース以上に偏在している資源である一方、主要用途である医薬品分野（レントゲンの造影剤、殺菌剤等）において中国やインドなどの新興国で年間5%の市場の伸びが見込まれています。

当社は、世界のヨード市場約28,000トンのうち現在7%の世界シェアを、今回の大型開発案件に出資参画することにより、2016年に15%へ拡大していく方針です。

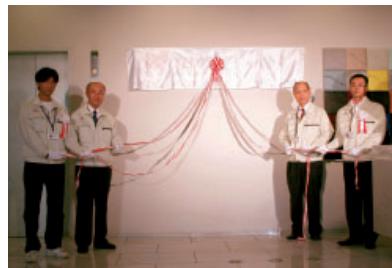
クロマグロの完全養殖稚魚の中間育成会社を設立



当社は、近畿大学とクロマグロの完全養殖事業で技術提携契約を結び、長崎県に株式会社ツナドリーム五島を設立しました。

世界的にクロマグロの資源枯渇が懸念される中、クロマグロ養殖のパイオニアである近畿大学の技術指導のもと、世界初となる中間育成事業を通じて、クロマグロの安定供給に貢献していきます。

TBカワシマ株式会社スタート



当社グループ、トヨタ紡織株式会社、株式会社川島織物セルコンによる3社統合会社“TBカワシマ株式会社”が、本年7月より本格的に稼働を開始しました。

3社の強みを生かし、一層の効率化を進めるとともに、世界市場の需要に対応できるグローバル化の推進や機能性・デザイン性に優れた商品開発を目指していきます。

インドのステンレス鋼管メーカーへ出資



当社は、丸一鋼管株式会社が筆頭株主であるインド唯一の自動車・二輪車向けステンレス鋼管メーカー、クマ ステンレス チューブ社へ出資しました。

今回のインドにおける排気系用ステンレス鋼管事業への参入を皮切りに、今後急成長が見込まれる新興国で金属事業のプレゼンスをさらに高めていきます。

金属本部

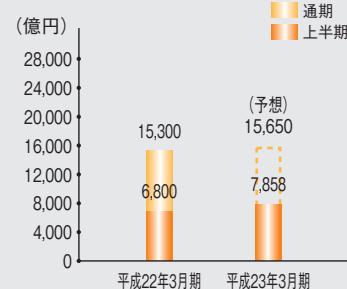


鉄鋼分野では、インド唯一の自動車・二輪車向けステンレス鋼管メーカーへ出資し、インド市場での基盤確立に取り組みました。

非鉄金属分野では、引き続きレアメタルを中心とした資源開発に注力しました。

売上高については、国内外の自動車メーカー向け取り扱いが堅調に推移したこと等により、前年同期を1,058億円(15.6%)上回る7,858億円となりました。

●金属本部の売上高



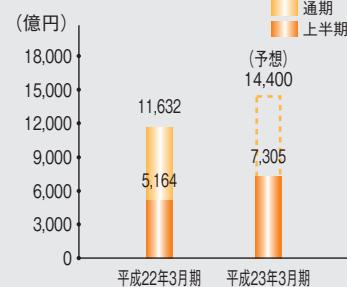
機械・エレクトロニクス本部



機械分野では、営業力と技術力の強化のため販売系の株式会社豊通マシナリーと製造系の株式会社豊通テクノに関係会社を再編しました。

売上高については、半導体等の販売増および海外自動車生産用部品の取り扱い伸長により、前年同期を2,141億円(41.5%)上回る7,305億円となりました。

●機械・エレクトロニクス本部の売上高



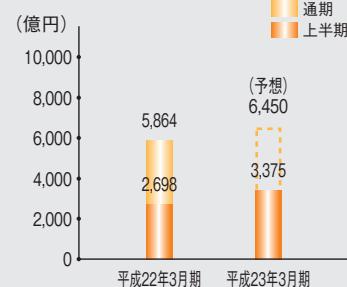
自動車本部



世界の販売拠点の顧客対応・サービスなどの販売力強化や、経営の効率化に取り組みました。また、中国、アジア、アフリカ等新興国において販売店の拡充に努めました。

売上高については、ロシアなどの車両販売が伸長したことにより、前年同期を677億円(25.1%)上回る3,375億円となりました。

●自動車本部の売上高



エネルギー・化学品本部

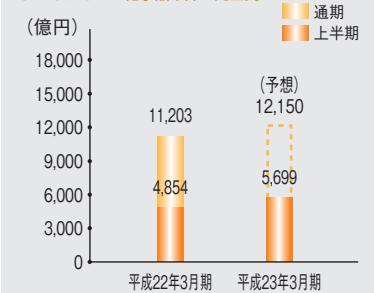


資源エネルギー・プラント分野では、卸電力事業（IPP）や再生可能エネルギー事業を拡大させるため電力事業部を新設しました。

化学品・合成樹脂分野では、チリのヨード開発・生産会社へ出資、新規ソースを獲得したほか、スウェーデンベンチャー企業との提携による新薬開発支援事業への参入、ナノテク光学材料の国内ベンチャー企業への増資などを行いました。

売上高については、電力案件や樹脂等の取り扱い伸長により、前年同期を845億円（17.4%）上回る5,699億円となりました。

●エネルギー・化学品本部の売上高



食料本部

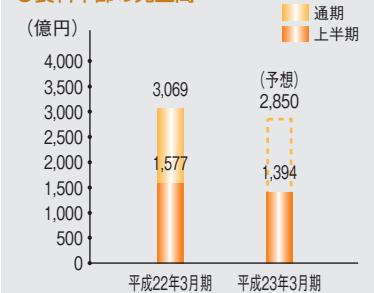


穀物分野では、タイ大手精糖メーカーとの業務提携契約を締結しました。

食品分野では、クロマグロ完全養殖事業において近畿大学と技術協力提携契約を締結し、株式会社ツナドリーム五島を設立しました。

売上高については、飼料等の取り扱い減少により、前年同期を183億円（11.6%）下回る1,394億円となりました。

●食料本部の売上高



生活産業・資材本部



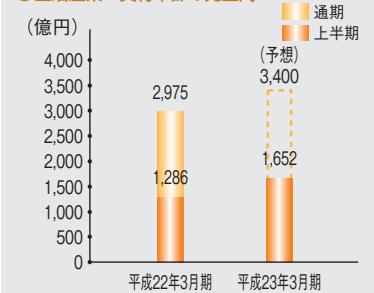
自動車資材分野では、輸送機器用内装材事業のTBカワシマ株式会社が7月より本格的に稼動しました。

保険分野では、三井住友海上火災保険株式会社の現地法人であるMSIGマレーシアへ追加出資しました。

繊維製品分野では、小売・ブランド事業への事業領域の拡大のため、イタリアの国際競泳ブランド「Jaked」の日本市場での独占輸入販売契約を締結しました。

売上高については、自動車関連資材および繊維製品等の取り扱い伸長により、前年同期を366億円（28.5%）上回る1,652億円となりました。

●生活産業・資材本部の売上高



1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(百万円未満切り捨て)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	2,733,244	19.9	46,733	132.0	58,028	137.3	27,103	181.0
22年3月期第2四半期	2,279,694	△41.4	20,145	△73.4	24,455	△71.8	9,646	△78.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	77.42	—
22年3月期第2四半期	27.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	2,234,545	645,385	25.8	1,648.51
22年3月期	2,274,547	650,215	25.7	1,671.68

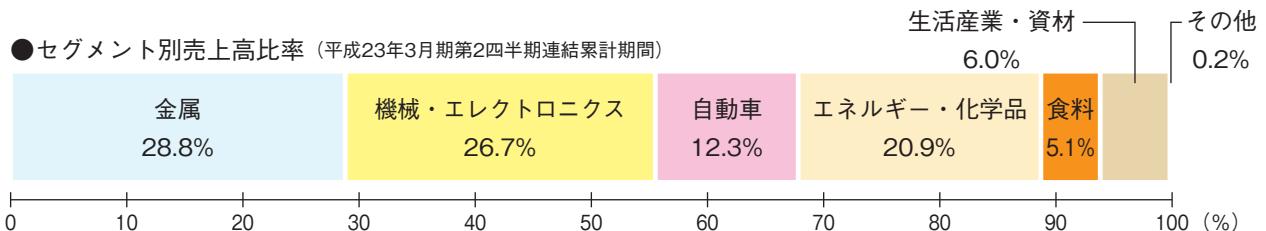
2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	8.00	8.00	16.00
23年3月期	12.00	—	—
23年3月期(予想)	—	16.00	28.00

3. 平成23年3月期の連結業績予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	5,500,000	7.8	88,000	58.3	98,000	45.4	48,000	75.6	137.03



連結財務諸表

連結貸借対照表

(平成22年9月30日現在)

単位：百万円

科目	当第2四半期連結会計期間末
(資産の部)	
流動資産	1,496,745
現金及び預金	177,925
受取手形及び売掛金	836,854
たな卸資産	356,254
その他	131,446
貸倒引当金	△5,736
固定資産	737,799
有形固定資産	274,583
無形固定資産	102,817
のれん	82,565
その他	20,251
投資その他の資産	360,398
投資有価証券	285,077
その他	95,710
貸倒引当金	△20,389
資産の部合計	2,234,545

科目	当第2四半期連結会計期間末
(負債及び純資産の部)	
流動負債	1,140,995
支払手形及び買掛金	620,803
短期借入金	305,685
未払法人税等	10,796
引当金	842
その他	202,868
固定負債	448,164
社債	65,000
長期借入金	335,793
引当金	20,192
その他	27,178
負債計	1,589,159
株主資本	628,811
資本金	64,936
資本剰余金	154,367
利益剰余金	416,185
自己株式	△6,678
評価・換算差額等	△51,366
その他有価証券評価差額金	8,572
繰延ヘッジ損益	△513
為替換算調整勘定	△59,426
新株予約権	1,197
少数株主持分	66,744
純資産計	645,385
負債及び純資産の部合計	2,234,545

※百万円未満は切り捨てております。

連結損益計算書(要旨) (平成22年4月1日から
平成22年9月30日まで)

科目	単位：百万円 当第2四半期連結累計期間
売上高	2,733,244
売上原価	2,567,359
売上総利益	165,885
販売費及び一般管理費	119,151
営業利益	46,733
営業外収益	21,486
営業外費用	10,191
経常利益	58,028
特別利益	2,477
特別損失	4,525
税金等調整前四半期純利益	55,981
法人税等	22,729
少数株主損益調整前四半期純利益	33,251
少数株主利益	6,148
四半期純利益	27,103

※百万円未満は切り捨てております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (平成22年4月1日から
平成22年9月30日まで)

科目	単位：百万円 当第2四半期連結累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,947
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,343
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,890
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,809
現金及び現金同等物の増加額	4,684
現金及び現金同等物の期首残高	170,714
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	2,526
現金及び現金同等物の四半期末残高	177,925

※百万円未満は切り捨てております。

(注) 連結貸借対照表科目別現金及び現金同等物の内訳

現金及び預金	177,925百万円
現金及び現金同等物の四半期末残高	177,925百万円

株式の売出しを実施

当社は、2010年9月に、株式の分布状況の改善と流動性の向上を目的に、普通株式の売出しを実施しました。売出し株数は1,368万3,000株（オーバーアロットメントによる売出しを含む）であり、発行済株式総数の3.9%となります。

なお、売出人および売出し株式数等は以下の通りです。

売出人等	売出し株数
三井住友海上火災保険株式会社	4,000,000株
あいおい損害保険株式会社	2,725,200株
東京海上日動火災保険株式会社	2,698,600株
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,817,000株
株式会社損害保険ジャパン	659,200株

オーバーアロットメントによる売出し	1,783,000株
-------------------	------------

ウェブサイトをリニューアルしました

2010年9月に当社公式ウェブサイトをリニューアルしました。

今回のリニューアルで、画面サイズが大きくなり見やすくなったほか、ロゴマークの下に会社情報や事業紹介、IRなどの基本メニューを集め、各メニューの冒頭ページで同メニュー内の全項目を表示するなど、ユーザーの皆様が求める情報にアクセスしやすい構成となっています。

また、ユーザーの皆様からご要望の多かった「社会・環境（CSR）」に関わる情報を充実し、お子様向けのページも新たに設置しましたので、ぜひご覧ください。



株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本誌がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

※ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を進呈させていただきます

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 8015

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



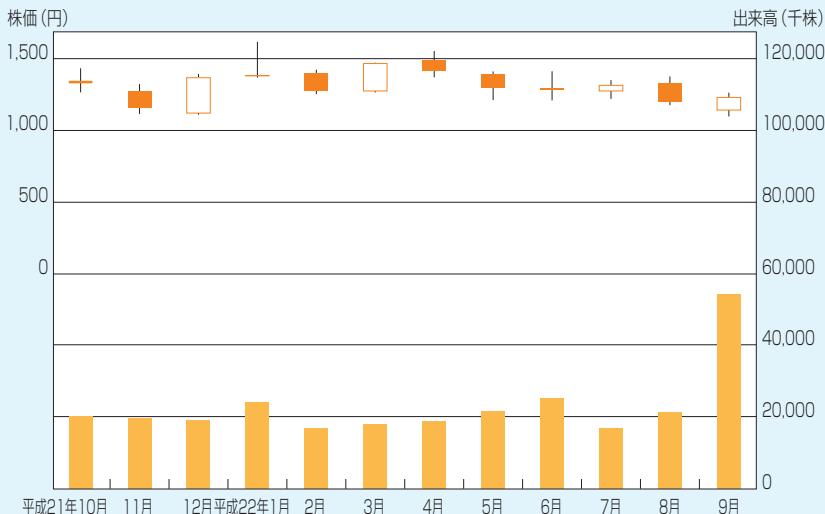
※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。（株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900（平日 10:00～17:30）MAIL:info@e-kabunushi.com

概要 (平成22年9月30日現在)

商号 豊田通商株式会社
(TOYOTA TSUSHO CORPORATION)
設立 昭和23(1948)年7月1日
資本金 64,936百万円
従業員数 3,447名
(出向者含む、受入出向者除く)

株価／出来高 (平成21年10月1日から平成22年9月30日まで)



株式の状況 (平成22年9月30日現在)

株式の総数 発行可能株式総数 1,000,000,000株
発行済株式総数 354,056,516株
株主数 73,377名

大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数(千株)	所有株式比率(%)
トヨタ自動車株式会社	76,368	21.79
株式会社豊田自動織機	39,365	11.23
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	15,946	4.55
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	15,266	4.36
株式会社三菱東京UFJ銀行	8,098	2.31
三井住友海上火災保険株式会社	6,000	1.71
株式会社三井住友銀行	4,249	1.21
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	4,107	1.17
あいおい損害保険株式会社	4,087	1.17
日本生命保険相互会社	4,057	1.16

(注) 1. 所有株式比率は、自己株式数3,546,025株を控除して計算しております。
2. あいおい損害保険株式会社は、ニッセイ同和損害保険株式会社と平成22年10月1日をもって合併し、社名をあいおいニッセイ同和損害保険株式会社に変更しております。

予想および見通しに関して

この中間報告書には、当社の将来についての計画や戦略、業績等に関する予想および見通しの記述が含まれています。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。これらの見込みは、経済動向、為替レート、法律、規制、政治情勢等にかかわるリスクや不確実性を含んでいます。それゆえ実際の成果や業績、実績などは記載の見込みとは大きく異なることがあります。
株主・投資家の皆様には、これらの情報に全面的に依拠されて判断されることのないよう、お願い申し上げます。

本誌の内容に関するお問い合わせ、ご意見やご感想などは豊田通商株式会社

広報・IR室 (名古屋) 電話 (052) 584-5011

広報・IR室 (東京) 電話 (03) 5288-2081

までお寄せください。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京・名古屋の各証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.toyota-tsusho.com/ir/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- (旧)株式会社ビスケーホールディングスに係る特別口座の管理機関について
当社と株式会社ビスケーホールディングスの株式交換の効力発生日の前日である2010年8月30日において、株式会社ビスケーホールディングスの株式を特別口座でご所有の株主様につきましては、みずほ信託銀行株式会社が特別口座の口座管理機関となっております。

○連絡先

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話:0120-288-324 (通話料無料、土・日・祝日を除く午前9時から午後5時まで)

 TOYOTA TSUSHO CORPORATION

〒450-8575 名古屋市中原区名駅四丁目9番8号 センチュリー豊田ビル
ホームページ <http://www.toyota-tsusho.com>

